

平成 30 年 4 月 20 日

調 査 研 修 報 告 書 (議 員 用)

報告者：横路政之 ㊦

実施場所：岡山県高梁市川上診療所	実施日：平成 30 年 4 月 12・13 日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 地域包括ケアシステム「川上方式」を学ぶため。	
■参考とすべき事項 <ul style="list-style-type: none">・ 医療・介護施設・住まいを町を中心に据えたコンパクトなまちづくり・ 地域住民一人一人の人生に継続的に関わる医療・ケア・ 地域での看取りの工夫・ 在宅医療コーディネーターの役割	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） <ul style="list-style-type: none">・ 高齢者住宅をNPOが運営し国民年金だけで利用できる仕組みを確立されている。その背景には、ボランティアの協力、住民の寄付など支える仕組みがあった。同じようにはできないにしても、このような仕組みづくりは必要なのではないか。・ 高齢者が子供のところに転出していく傾向は高梁市にもあるが、それを食い止める包括ケアシステムが進んでいる。本市もこのような視点でのシステムづくりは必要と考える。転入を促す施策も必要だが、転出を食い止める施策も重要と考える。慣れ親しんだ地元をいたいという思いの、確率の方がはるかに高いのだから。	